

嗅覚受容体を介した発汗制御

主たる提供特許

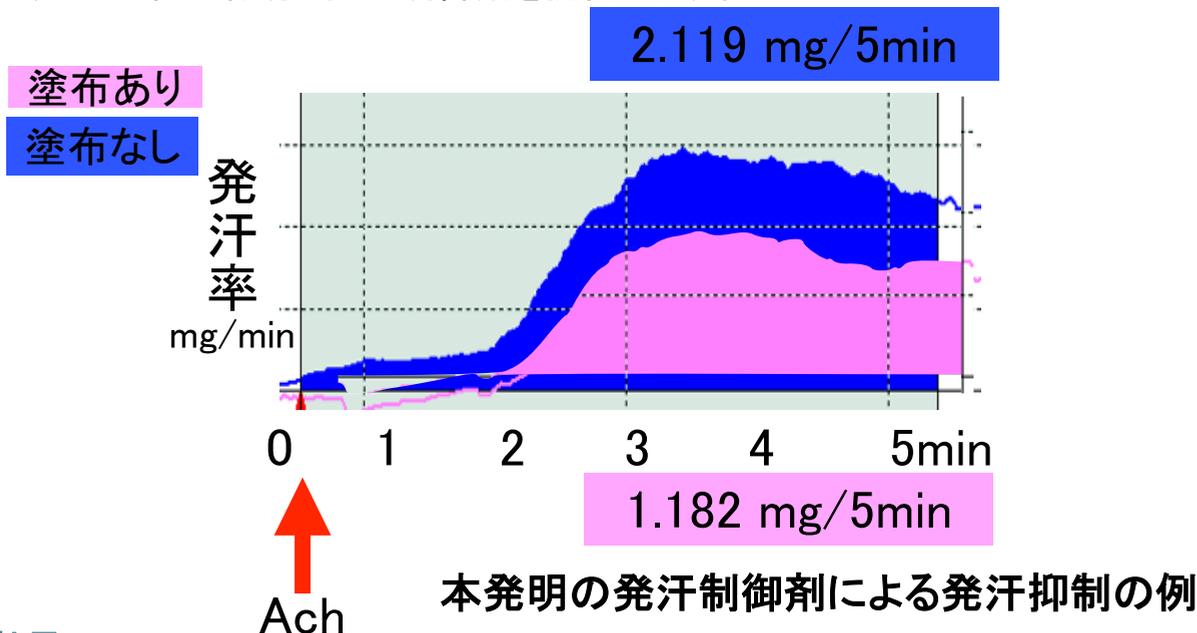
権利者	国立大学法人長崎大学
題名	嗅覚受容体を介した発汗制御
番号	特願2020-020740

汗腺で発現する嗅覚受容体を特定しました。

技術概要

発明概要

発汗は健康を保つ上で重要なヒトの生理機能です。発汗が減少(無汗)すると体温は上昇し熱中症となり皮膚は乾燥します。発汗が過剰(多汗)になると低体温となり、例えば、社会活動を困難にします。発汗を制御する方法として、多汗であれば、例えば、汗管を塩化アルミニウムで閉塞する方法、あるいは発汗を誘発するアセチルコリンの作用を抑制する薬剤(抗コリン剤)が用いられています。しかしながら、塩化アルミニウムでは刺激性皮膚炎、抗コリン剤では目の乾燥や口渇、頭痛、頻脈などの副作用が生じる可能性が高く、適用範囲が広いとは言えません。また、無汗に対して発汗を誘発する方法は現在のところ確立されていません。本技術は、より無害で有効な発汗制御剤を提供します。



効果

- ・皮膚に塗布又はスプレーすることで発汗制御が可能です。

応用分野

実用化例

- ・制汗剤、入浴剤(発汗促進)
- ・熱中症予防のための発汗促進剤
- ・制汗・抑汗の衣類の開発

企業へのメッセージ

共同研究先企業、技術移転先企業を探しています。